

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレンズ石津		
○保護者評価実施期間	2024年9月15日	～	2024年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年9月15日	～	2024年9月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりに寄り添った療育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝ミーティングで利用する児童の状況を話し、その児童に合った療育を提案し合っている。常に児童に対する気付きを共有している。</li> <li>・固定化しないようにネットや研修等で得た知識を療育に取り入れたり、生活面でも児童自身が過ごしやすいように、また家庭の負担が減るように生活療育を必ず取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定や振り返りが不十分であるので、明確に目標設定や振り返りを行い、全職員で把握できるようにする。</li> <li>・できたことシート等の目に見てわかるものを使用し、児童の興味関心を引き出し、意欲的に行動できるようにする。</li> </ul>
2	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に会えない保護者が多いため、その日の療育をした内容や様子を細かく丁寧に書くようにしている。</li> <li>・公式LINEを用いて、リアルタイムの様子を知らせることもある。また、気軽に相談が出来るように公式LINEを設置した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年に一度のモニタリングの機会をほかに、直接顔を合わせて話ができる機会を増やし、より保護者との連携を図るようにしていく。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方で働いている方が多く、開催の目処を立てることが難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者交流として、児童の普段の様子を見てもらう参観の機会を設け、その後参加された保護者同士が関われるような場を計画していく。また、放課後等デイサービスと児童発達支援のどちらの保護者も交流できる場を設け、支援学校や地域の学校の話を直接聞けるようにする。</li> </ul>
2	地域交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所してから人員の安定が難しく、児童のことや運営を回すことに手一杯になっていて地域交流にまで手が回らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度、事業所近辺の道路や公園の清掃を行ったり、近隣にふとん太鼓の蔵があるので見学させてもらう等して、地域交流を図っていき、どのような事業所かわかってもらえるようにする。</li> </ul>
3	就業に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで小学生のみで就業に向けて考えていなかったが、中学生になり就業について視野に入れていく必要が生まれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業支援されている事業所と連携を図り、見学に行く等して就業についてのビジョンを確立し、中学生の児童の保護者にも話をする。</li> <li>・就業でするようなことを実際に療育に取り入れていき、どのようなものが児童自身が理解できるようにしていく。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	フレンズ石津					公表日	2024年10月24日		
					利用児童数	5		回収数	4
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25%			75%	・どれがどの支援に該当するかはわからないが、子どものために支援内容を設定してくれているのは理解している。	・計画について説明する際に、詳しく保護者がわかりやすいように丁寧に伝えることを心がける。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	75%			25%	・子どものことを考えて様々な活動をしてきているが、どんなことをしているかは詳しく把握していない。	・迅速や連絡帳で行った活動を知ることができるとともに、固定化しないよう調べる等児童ひとりひとりに合ったプログラムを提案していく。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			100%		・地域の子どものイベント等はないと思う。	・夏祭り等のイベントの際に近隣の児童に声掛けをし招待することで、関わる機会を設けていく。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			100%		・子育てについての不安等の話を聞いてもらうことはあるが、研修等の機会は少ない。	・面談で話を聞く以外に、外部講師を呼んで研修をする等を機会を設けられるよう検討していく。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	75%	25%			・仕事で送迎の際に顔を合わせるができないことがあるため、伝えきれないことがある。	・連絡帳や公式LINEを用いて、些細なことでも情報共有できるように声掛けをしていく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	75%			25%			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	75%			25%			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			100%		・利用児童のみのイベントは多く開催してくれているが、保護者や利用児童の兄弟に向けたものはない。	・兄弟交流や保護者交流ができる機会を設け、定期的に開催していく。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	75%	25%			・子どものことについての相談をした際に迅速に対応し、今後どのような対応をしていくか等を知らせてくれた。	・今後も相談や申し入れがあった際は、迅速に対応し職員間で周知することで、児童や保護者が安心できるように努めていく。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	75%			25%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25%			75%	・あまり知らない。	・Instagramや公式LINEを開いているので、保護者に再度周知し積極的に発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%	25%			・訓練をしているのは知っているが、どのような内容をしているかは把握していない。	・マニュアルや訓練内容をお便りや公式LINE等のツールを用いて知らせていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	75%	25%			・訓練をしているのは知っているが、どのような内容をしているかは把握していない。	・マニュアルや訓練内容をお便りや公式LINE等のツールを用いて知らせていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	フレンズ石津		公表日	2024年10月24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・法令に遵守したスペースを確保している。 ・空間を二つに分けており、メインフロアにクッションマットを敷き安全に配慮。	・児童全員で一つの活動をする際や、身体を動かす療育をする際に余裕のあるスペースではないので、グループ分けやコーナー分け等をして空間の確保が課題。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・利用児童人数に応じて配置基準の職員を配置している。	・送迎が重なる時間帯は職員が手薄になる時間帯もあるが、事故や怪我のないよう細心の注意を払っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		・トイレや手洗い場、ロッカー等全てに視覚でわかりやすいようにイラストや写真、大きな文字で表示することで過ごしやすいようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・療育終了後に毎日清掃を行っている。 ・道具や玩具の安全性について定期的に点検を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・二階を静養室として設けており、クールダウンが出来るように折り畳みのベッドと椅子を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		・毎月の支援会議で振り返りや改善について話し合いながら支援にあたっている。	・目標設定と振り返りが不十分な時もあるので、お互いに声を掛け合い、改善策について会議できる場を増やしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・アンケートの結果を会議で全員で共有し、検討している。改善できる点はミーティングで話し合い、事業計画に反映している。	・年に一度のみのアンケートになるので、積極的にアンケートを実施し、業務改善に努める。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		・事業所の規模が小さいため予算的に厳しいのが現状ではあるが、今後実施出来るように検討したい。
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		100%		・現在、外部研修に参加が難しい場合が多いが療育の質の向上のため積極的に参加できるようにしていく。今後も、伝達研修を行い、事業所全体の質も高められるようにする。
	10	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		・半年に一度アセスメントを行い、個別面談を経て個別支援計画を実施している。保護者のニーズを聞きながら、児童を客観的に評価し作成。保護者や児童、職員、連携機関等から情報収集を行い、一人一人にあった計画の作成に努めている。	
	11	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・アセスメントを基に児童発達支援管理責任者が作成し、個別支援計画の内容(長・短期目標)や児童に関する情報を非常勤職員も含め、全員で把握できるようにしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・知能検査や発達検査等の数値化されるツールは使用していないが、個々の状況に応じたアセスメントを行っている。	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・日々ミーティングを実施し、個別や集団でのプログラムを協議して立案している。	・児童の興味関心に沿ったものや想定される行動等の意見を出し合いながら、新たなプログラムを考えていきたい。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・児童や保護者のニーズを取り入れながら、インターネット等で情報収集をし、ヒントを得ながら固定化しないようにしている。	
	15	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・個別、小集団での活動を行っている。	・児童の気持ちを大切に、個人に合わせたSST等、小集団で出来るものを積極的に取り入れていきたい。

	16	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	・毎朝のミーティングで支援の方向性等やその日の利用する児童の療育の役割分担を確認している。	・役割分担が不十分な時があるので、連携を深めていく。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	・児童の記録に残し、全員が支援内容を振り返ることが出来るようにしている。	・送迎があるので当日の振り返りは出来ないため、翌日の朝等に出来るようにしていく。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・日々の記録をとることは徹底している。 ・支援の検証につなげていくのは難しいので記録の内容の見直しを行ったり、一つの事象についての対応方法や結果がどうだったかを記載するように心がけている。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・定期的にモニタリングを行い、職員同士が計画について話し合いをし、見直しが必要か判断を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・関わりや経験から児童にとって現状で良いと思われる支援に繋がるよう、情報共有して協議できる者が参加している。	
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		100%		・今年度から児童発達支援が開始したため、今後就学時は小学校や特別支援学校との情報共有を通して、連携をとれるようにしていく。
	22	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	25	(25は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		100%		・機会がないので、連携を図り助言を受ける機会を設けることが出来るようにしていく。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%			・あまりないので、イベント時等に近隣の児童に声掛けをする等して交流をしていく。
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・送迎時や、公式LINE等で状況報告をしながら、課題を共有して理解している。	
28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・ご家庭と連携した支援を目指し、児童に対しての接し方を共有できるように話している。		
保護者への説明	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・契約時に運営規定重要事項説明書により支援内容や利用者負担について、児童発達支援管理責任者より説明しており、変更時にはその都度説明している。	
	30	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・保護者から相談を受けた際は、職員間で共有し、話し合いを行い、できるだけ迅速に対応するようにしている。保護者に寄り添うことを大切にしている。	・必要な助言と支援を行うにあたり、スキルの向上が必要である。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%		・保護者会や兄弟交流会等を実施出来ない状況であり、今後は保護者と協力しながら開催できるようにしていきたい。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・苦情窓口は契約時に案内しており、職員全体で情報共有をしながらできる限り迅速に対応するように努めている。	

明 等	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・個人情報に記載されている書類は鍵付きの書庫で保管し、廃棄書類はシュレッダーしている。業務内のことは事業所だけで済ませる。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・Instagramを開設し、活動の報告を行っている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・個々の児童に応じた意思疎通を行っている。職員間で常に児童について話し合いをし、個人に合った方法を考えながら対応している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	・近隣スーパーを買い物体験で利用することで、当事業所を知っていただけるようにしている。	
非 常 時 等 の 対 応	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	・それぞれ策定し、職員に周知するとともに、定期的に訓練を実施している。	・マニュアルは作成しているが、保護者には周知されていないため、お便りや公式LINEを利用して周知していく。
	39	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%	・定期的に訓練を実施している。また、年に一度防災センターで訓練コースを体験している。	・今後も万が一に備え、緊張感を持って行っていく。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・契約時のアセスメントで聞き取りを行い、アレルギーの有無を確認している。	・今後は新年度ごとにアレルギー調査票を配布し、定期的に情報収集を図っていく。
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハット発生時には報告書を作成し、毎月の事業所内会議で共有し、改善に向けて話し合いを行い、再発のないよう努めている。	
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・虐待防止委員会を設置している。また、研修に参加したり事業所内研修を通して、意識を高められるようにしている。	
43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・身体拘束に該当する児童がいないが、契約時には説明をしている。		